

ダンショウゲ（アカネ科ハクショウゲ属）（段丁花）

NPO法人グラウンドワーク八尾理事
齊藤 侑三

「ハクショウゲ（白丁花）」の園芸品種で、葉が一回り小さい“ダンショウゲ”という花がある。ハクショウゲと同じように、5-7月頃に花が咲くが葉の色が少し濃い緑色だ。

大阪府下では箕面の西江寺、大阪市東淀川区の柴島神社で見た。大阪府八尾市では玉祖神社の社務所前にずらりと並んで、豊臣秀頼寄進の灯籠の周囲にも植えてある。花をよく見ると5弁が多いが3弁~4弁もある。花を横から見ると漢字の「丁」の字に見えると名前が付いた。

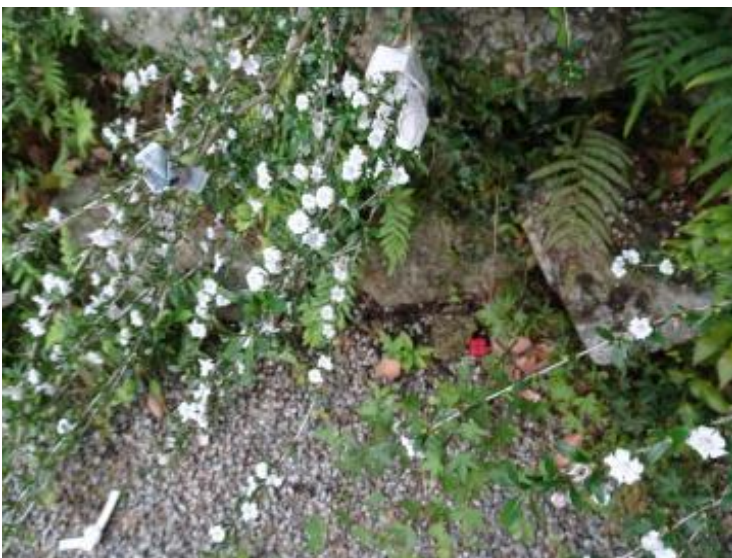
玉祖神社では随分昔からあったが、ほとんどの人が“ハクショウゲ”と思っている。「ハクショウゲ（白丁花）」は沖縄・中国・台湾・インドネシアに分布し、剪定もしやすいので、生け垣などによく利用されている。神社やお寺には珍しい物が寄進されるので、よく観察すると珍しい植物に出会う。



葉が小さいダンショウゲ



左奥に4弁花が見えるダンショウゲ



おみくじもむすんである



日当たりが良いと花が沢山着く